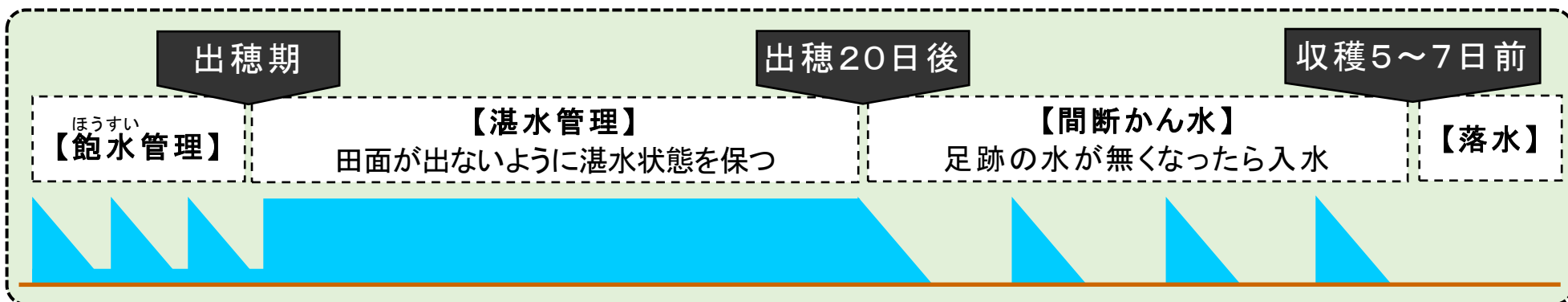


- 現在のコシヒカリの生育は早まっており、今後も、気温が高くなる予報が出ていることから、5月10日植えて、出穂期は7月26日頃と見込まれます。
- 出穂後20日間は「湛水管理」、その後は収穫5～7日前まで「間断かん水」を行いましょう。
- 今年もカメムシ類の発生が多く、クモヘリカメムシ等の大型カメムシも目立ちます。適期防除で斑点米の発生を防止しましょう。カメムシ類の常発地等では随時防除を行いましょう。
- 適期刈取と適正な乾燥調製で、胴割米の発生を防ぎましょう。

1. 出穂後の水管理

～適切な水管理で白未熟粒や胴割米の発生防止～

- 出穂後20日間は、湛水状態を保ち、稲体の活力を維持しましょう。
- 収穫の5～7日前までは「間断かん水」を行い、胴割米の発生を防止しましょう。
- ※フェーン現象等、高温乾燥が予想される場合は、事前に入水しましょう。



2. 病虫害防除の徹底 ～カメムシ対策 第6回～

～今年もカメムシが多発！ 雑草管理と適期防除で斑点米の発生防止～

- 畦畔や雑草地は、イネ科雑草の穂が出る前に草刈りを徹底しましょう。
- ※ほ場内のヒエやホタルイの穂が出る前に抜き取りましょう。
- やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、本田薬剤防除の直前に行いましょう。
- 本田防除は穂揃期(8～9割出穂した頃)とその7日後の2回、確実に実施しましょう。
- (防除時期は下表を参考に水稻の生育状況を確認して決めましょう。)
- 防除間隔は7日を目安とし、10日以上あけないようにしましょう。
- 毎年斑点米カメムシの発生が多い地域や、防除後も発生が目立つ場合は、3回目の防除を実施しましょう。



品 種 (田植時期)	コシヒカリ (5/10 植え)	てんこもり (5/10 植え)	薬 剤 名		希釈倍数 10a 当たり 散布量	対 象 病 害 虫
出穂予想	7/25～7/27	7/30～8/1				
1 回 目 穂揃期	7/28～7/30	8/2～8/4	粉 剤	ビームスタークル粉剤5DL	4kg	いもち病 カメムシ類 ウンカ類
			液 剤	ビームエイトスタークルゾル	1,000 倍 100～150ℓ	
2 回 目 傾穂期	8/4～8/6	8/9～8/11	粉 剤	キラップ粉剤DL※	4kg	カメムシ類 ウンカ類
			液 剤	キラップフロアブル※	1,000 倍 100～150ℓ	
3 回 目 【随時】	(多発時) 収穫7日前まで		粉 剤	スタークル粉剤DL	3kg	カメムシ類 ウンカ類
			液 剤	スタークル液剤 10	1,000 倍 100～150ℓ	

※キラップ粉剤DL、キラップフロアブルともに使用時期は収穫14日前まで

畦畔まで薬剤が
かかるように
防除しましょう！



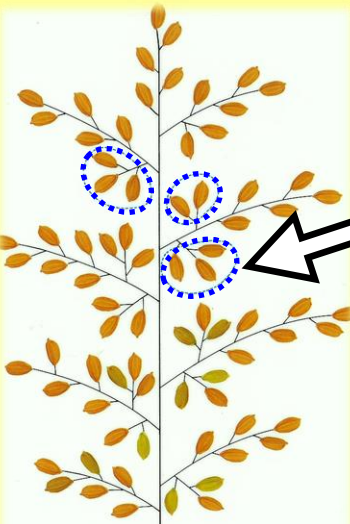
農薬危害防止運動実施中！(4/1～9/30)

- 住宅地周辺で散布する場合は事前に周知し、飛散防止を徹底
- 使用前には必ずラベルで作物名・使用方法等を確認
- 農薬は適切に保管・管理し、使用した場合は必ず記帳
- 農薬を調整・散布する時は、マスクなど防護装備を正しく着用

3. 適期刈取

～適期刈取で胴割米の発生防止！～

- 刈取前に、ほ場内のゴミやクサネム等の雑草を除去し、異物の混入を防止しましょう。
- また、コンバインや乾燥機等の点検・整備や施設の清掃を徹底しましょう。
- ほ場ごとに籾の黄化状況を確認して、黄化率85%のほ場から刈取りを開始（高温登熟時は80%から）し、適期内に刈取りを終え、刈遅れによる胴割れを防ぎましょう。



刈取適期：「籾黄化率 85～90%」
上位3番目と4番目の二次枝梗籾が黄化した頃
※高温登熟時は黄化率80%から刈取り開始

まだ青くて細いのにな...

青未熟 整粒 胴割

刈取時期の目安

- ・てんたかく：出穂後34日頃
（高温登熟時は32日頃）
- ・コシヒカリ：出穂後38日頃
（高温登熟時は35日頃）
- ・てんこもり：出穂後44日頃
（高温登熟時は40日頃）

4. 適正な乾燥調製

～玄米仕上げ水分は14.5%～15.0%！～

1 過乾燥米の発生防止

- ・ヤケ米発生防止のため、刈取り後4時間以内に籾を乾燥機に張り込んで、直ちに2～3時間の通風乾燥を行いましょう。
- ・適正な送風温度や二段乾燥（籾水分が17%台で一時中断し水分を均一にする）等により、急激な乾燥を避け、玄米水分を14.5～15.0%に均一に仕上げましょう。
- ・青米の混入程度を確認し、乾燥機の停止水分を設定しましょう（右表）。

表. 青米の混入程度と乾燥機停止水分の目安

100粒中の青米数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く(－0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

2 肌ずれ米と籾混入の防止

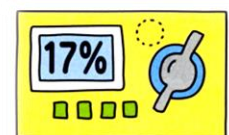
- ・乾燥が終わった籾は常温に冷やしてから再度水分を測定して籾摺りしましょう。
- ・籾摺機のゴムロールが減っている場合や硬化している場合は新しいものと交換しましょう。
- ・籾摺機のロール間隙を調整し、玄米への籾の混入を防止しましょう。

3 屑米の除去

- ・選別は1.9mm（つくばSD2号は1.85mm）のふるいをを用い、機種ごとの適正流量を守って、完全粒歩合を高めましょう。

4 適正な量目

- ・皆掛重量は、30.5kg（紙袋の場合）で出荷しましょう。



水分測定は、
常温に冷やしてから



5. 農作業事故の防止

～とやまGAPに基づき安全な農作業を～

【熱中症対策】

- ・適度な休憩を取り、休憩時には必ず水分・塩分を補給しましょう。体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断し、体を冷やして水分・塩分を補給しましょう。

【刈払機】

- ・草刈り作業の際は、保護メガネ等の保護具や裾、袖口が締まっている作業服等を着用しましょう。刈払機の回転部に草などがからみついた場合は、必ずエンジンを止めてから取り除きましょう。

【コンバイン】

- ・コンバインの周辺に人や物がいないか、常に注意しましょう。扱胴部にワラなどが詰まった場合は、必ずエンジンを止めてから取り除きましょう。

「水稻栽培履歴報告書」と「GAPシート」 提出期限のお知らせ

- ・早生品種は、**8月7日(金)**まで、
- ・中生・晩生品種は、**8月18日(火)**までに提出してください。

※第6号はホームページ

<https://ja-aoba.jp/>
でも掲載しています。

